

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

287号 アトピー性皮膚炎フィラグリン

3回シリーズの3回目



漢方の健康堂薬局の店主 長澤昭と申します。

3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

285号からは、「アトピー性皮膚炎フィラグリン」と題して3回シリーズでお伝えいたします。

285号 3回シリーズの1回目（5月2日発行）

1. 今回の研究の着眼点と成果

(1) フィラグリンは天然保湿因子の供給源

(2) 今回の研究の着眼点と成果

短編（科学のよもやま話）第202号（5月9日発行）

アレルギーマーチ

286号 3回シリーズの2回目（5月16日発行）

2. フィラグリンが減ってしまう原因の一つは、フィラグリン遺伝子の異変

短編（科学のよもやま話）第203号（5月23日発行）

アトピー性皮膚炎の漢方治療

287号 3回シリーズの3回目（5月30日発行）

3. 最後に



3. 最後に

3回シリーズの3回目

3. 最後に

「皮膚を保護、アトピー改善 新薬開発に光、京大」というニュースを聞いて「アトピー性皮膚炎の治療の画期的な方法が見つかった」と思われた方も少なくはないのではないのでしょうか。ニュースの報道からは、そういうニュアンスが伝わる内容でした。

しかし、今回の研究で明らかになったことは、「フィラグリンは、皮膚のバリア機能に関与するのであって、全てのアレルギーに関与しているわけではない」ということなのです。例えば、アトピー性皮膚炎のかゆみの原因が、食物アレルギーであった場合は、フィラグリンを補っても、かゆみの原因を取り去ることは出来ません。もちろん、フィラグリンが多くなることにより、皮膚のバリア機能を強化することは出来ます。その結果、食物アレルギーによるかゆみにより、皮膚を掻き壊す度合いが減るということは考えられます。しかし、このことは、二次的な悪化要因（バリア機能の低下）を低下させるだけであって、一次的（根本的）な発症要因（食物アレルギーの摂取によるアレルギー症状の発現）を解決することにはなっていません。つまり、フィラグリンを補うことにより症状が緩和されても、アトピー性皮膚炎の原因が他にある場合は、根本的な解決とはならないのです。

しかし、皮膚のバリア機能を高めることは、アトピー性皮膚炎の「掻き壊し」などの症状を緩和できることは確かです。今後、この研究が進んで、フィラグリンを促進させる治療薬が開発されれば、アトピー性皮膚炎の一部の症状（皮膚のバリア機能の低下によるかゆみ）に対する効果は期待できるでしょう。

つまり、このニュースを読んだ際、「フィラグリンの補給が、全てのアトピー性皮膚炎を治す」という誤った認識しないことです。正しくは、「フィラグリンの補給は、アトピー性皮膚炎の一部の症状に対して有効である」ということです。

アトピー性皮膚炎により「かゆみ」を生じさせる原因にはいろいろなものがあります。特に、治りにくいアトピー性皮膚炎の場合は、複数の要因が複合して関係していることが多いため、一つの要因を解決することだけでは、症状は改善しない場合が多いです。ですから、「全てのアトピー性皮膚炎を治せる」という認識には注意が必要です。

以上、今週の内容でした。

—[プロフィール]—
—[プロフィール]—

■長澤 昭（ながさわ あきら）1952年 静岡県生まれ
1980年に薬局を創業。
2000年、毎日新聞「アミューズ」に、「漢方薬に詳しい薬局」として、全国わずか35店のうちの1店として取り上げられる。
2001年、約300の病名・症状別の「病気別漢方選薬システム」を完成させる。

現在は、当店HPにて公開中

登録／解除の方法

↓ ↓ ↓

<http://kenkodo.web.infoseek.co.jp/melmaga.html>

(E-Magazine からご購入の方はこのメルマガの一番下に解除フォーム有り)

注意・免責事項

◎一般の方向けの内容なので、厳密な医学用語は使用していません。医学的な専門性から考えた場合、妥当でない表現があると思いますが、なるべく平易な表現を使用するようにしてあります。

◎個別の健康相談を行うものではありません。

◎体の状態は個人によって異なっています。現在治療中の方はかかりつけの主治医と相談をしてください。

◎ご自分の責任の範囲でご利用ください。記載内容を利用し生じた結果について、当方では責任がとれませんのでご了承ください。

=====

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

発行者：漢方の健康堂薬局

発行責任者：長澤昭

<http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/>

E-mail: mailto:kenkodo@oregano.ocn.ne.jp

「薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報」の本文は、著作権により保護されています。

ただ、個人的にお友達に転送することは自由です。その場合、このメルマガの一部だけを転送するのではなくて、全文を転送していただけると、うれしいです。よろしければ、お知り合いの知人、友人に教えてあげてくださいね（商用の場合を除く）。

転載の場合はご一報ください。
